

ポートランド大学における バスケットボール指導と大学の体制について

倉 島 武 徳

1. はじめに

バスケットボールは1892年にアメリカのマサチューセッツ州スプリングフィールドのYMCAで、冬期間の室内競技として考案されたものである。ゴールを頭上に水平に置く、ボールを持って走られないこと、身体接触を禁ずるなど13カ条からなるルールをつくりYMCAを通じアメリカ全土に広まったのである。1905年には西部大学バスケットボール協会が誕生し、1915年にはYMCA（キリスト教青年会）・AAU（アメリカ体育協会）・NCAA（アメリカ大学体育連盟）が協同して規則委員会をつくり、バスケットボールの正常な発展に力をつくしたので、より一層興味深いものになり、若人にもっとも愛好されるメジャースポーツの地位を占めるにいたったのである。その後、バスケットボールは世界各国に普及し、FIBA（国際バスケットボール連盟）も組織化され、1936年のベルリンオリンピックでは、正式種目に加えられた。日本におけるバスケットボールの歴史は、1914年（大正3年）F.H. ブラウン氏が神戸のYMCAを通じて紹介したのがはじまりであるといのが一般的な説である。1924年には大学連盟が結成されリーグ戦が行なわれるようになった。1930年にはJABBA（日本バスケットボール協会）が設立されて、国際ゲームにも出場すによりになり、現在にいたっている。しかし、戦後の世界のバスケットボール技術の発展はめざましいものがあり、日本は取り残されている。とくに、アジア地区においても中国・韓国に後塵を拝しているのが実情である。

一方、北海道のバスケットボールを眺めたとき、戦後の一時期までは全国でもバスケットボール王国として君臨した時期があったが、昭和30年代の高度経済成長期にはいるとともに、凋落ぶりが深刻になってきた。とくに、大学における技術レベルの低下は目に余るものがあり、1960年に北海道学芸大学が北海道総合選手権大会で優勝して以来、1976年に札幌大学が同大会でチャンピオンになるまで実に16年間も低迷を続けていたのである。さらに、この状況は1981年に札幌大学が2度目のタイトルを取ったあとも続いている。この原因は、指導者の不在・有力な高校生の道外流出・ビッグゲームが見られないなどのことがあげられよう。

このような中で、札幌大学留学研修規定による中期留学が認められ、本場アメリカのバスケットボールを勉強する機会を与えられ、以下のような見地から研修の大学を選定した。アメリカにおけるバスケットボールは非常に幅が広く、なおかつ深く底知れないのである。従って、上を見れば切りがなく、下を見れば広すぎて焦点を絞られなくなるので、カレッジバスケットボールを研修する

ことにした。そのためには、現在札幌大学が置かれている状況に類似した大学であること(国内で置かれた地域的な状況・プレイヤーの素質の状況・プライベートカレッジであり規模も類似している・コーチは指導能力の高い人であること)を条件に選定し、オレゴン州の University of Portland が候補にあがり、交渉した結果、同大学およびコーチから了解をもらい、決定にいたったのである。

2. University of Portland のプロフィール

カソリック系の私立大学で、すべての人種・国家・宗教の学生に開かれている。

Officers of Administration

	President	Rev. Thomas C. Oddo, C. S. C.
	Executive Vice-President	Dr. Arthur Schulte
	Academic Vice-President	Rev. Geoge C. Bernard, C. S. C.
所在地	5000 North Willamette Blvd, Portland. Oregon 97203 USA.	
創立	1901年	
キャンパス	92 Acres	
学生数	2,800名 (30州. 50カ国. 含 Graduates)	
教授団	110名	
学生・教授比率	17 : 1	
費用	授業料	(1983/84) : \$ 4,740 (Undergraduate)
	部屋及び食事代	\$ 2,260
	学生自治会費	\$ 50
	健康保険	\$ 134
	保証金	\$ 25
	図書及び維持費	\$ 300
	学期	2学期制
クラス	20~30名	
図書	200,000冊; マイクロフィルム 125,000枚	
履修	1週	15~18時間
	1回	60分授業
	1週	3回 (月・水・金) 及び 2回 (火・木)
学部・学科	School	
	School of Business Administration	
	School of Education	

School of Engineering

School of Nursing

College

College of Arts and Sciences

Graduate School

体 育 アメリカでは、体育を必修にするかしないかは各大学の判断に任されている。University of Portland では必修教科にはなっていないが、School of Education で次のような科目をセットしている。

- Athletics in Education
- Prevention and Care of Athletic Injuries
- Elementary Physical Education and Health
- Techniques of Coaching

Basketball

Baseball

Track and Field

Football

Soccer

Volleyball

Tennis and Golf

- Techniques of First Aid
- Lifetime Health and Fitness
- Health and Safety in Early Childhood
- Sports Medicine
- Kinesiology

体 育 施 設	Tennis Court	4 面
	Baseball Field	1 面
	All Weather Track (400m)	1 面
	Howard Hall	
	Gymnasium	1 面
	Swimming Pool (15m×25m)	1 面
	Weight Room	1 面

なお、Howard Hall は、1928年に建てられたもので、非常に老朽化しており、上掲の施設のほかに Athletic Department の Office や Locker room なども手狭になり、1984年8月に完成の予定で総工費 \$ 7.7 Million (約20億円) の

倉 島 武 徳

The Earle A. Chiles Center を建設中である。

Earle A. Chiles Center は 5,000名収容の多目的体育館で、Varsity Basketball, Volleyball, Indoor Tennis, Convocations, Commencement exercises, Trade shows などのほか Weight training room, Locker room, Meeting room, Athletic Department Office も完備されることになっている。

3. University of Portland の Intercollegiate Athletic について

Athletic Affiliation

NCAA University Division I

League Affiliation

Men's Basketball (WCAC: West Coast Athletic Conference)

Women's Basketball (NAIA: National Association of Intercollegiate Athletics)

Men's Tennis (WCAC)

Women's Tennis (NAIA)

Volleyball (NAIA)

Golf (WCAC)

Baseball (Northern Division Pac-10)

Track (Independent)

Men's Cross Country (WCAC)

Women's Cross Country (NAIA)

Men's Soccer (NCSC: Northwest Collegiate Soccer Conference)

Women's Soccer (NCSC)

Committee for Athletic Control

Chairman 1名

Senate Representative 1名

Executive officio members 3名

Members 7名

Students 2名

Athletic Department Staff

Director of Athletics

Sports Information Director

Assistant to Sports Information Director

Trainer	
Student Trainer	
Student Manager	
Team Physicians	
Team Dentists	
Department Secretaries	
Women's Athletic Coordinator	
Men's Basketball	Coach Assistant Coach
Track and Cross-country	Coach
Men's Tennis	Coach
Golf	Coach Advisor-Instructor
Men's Soccer	Coach Assistant Coach
Baseball	Coach Assistant Coach
Women's Basketball	Coach Assistant Coach
Women's Volleyball	Coach
Women's Soccer	Coach
Women's Tennis	Coach
Colors	Purple and White
Nickname	Pilots

4. University of Portland Basketball Team の経費について

Head Coach	\$ 100,000	(推定)	他の Staff については不明
Scholarship	\$ 8,000 × 15		
Away Game	\$ 5,300 × 19		

この他に、Recruit・Scout にかかわる費用は、全額大学負担である。何故、これだけの費用負担をするのかについて、学長は「大学は学問研究とスポーツ・文化活動が車の両輪のように同時に活発でなければならない。そのためには学問研究にもスポーツ・文化活動にも学校が投資するのは当然である」と明言している。

このようにスポーツ活動に学校全体で理解を示している University of

Portland と今日の札幌大学とを比較すると、社会環境や文化的背景が異なる
とはいえ、大学としての識見の在り方に大きな差異のあることを痛感させられ
る事実である。

5. アメリカにおけるバスケットボール全般について

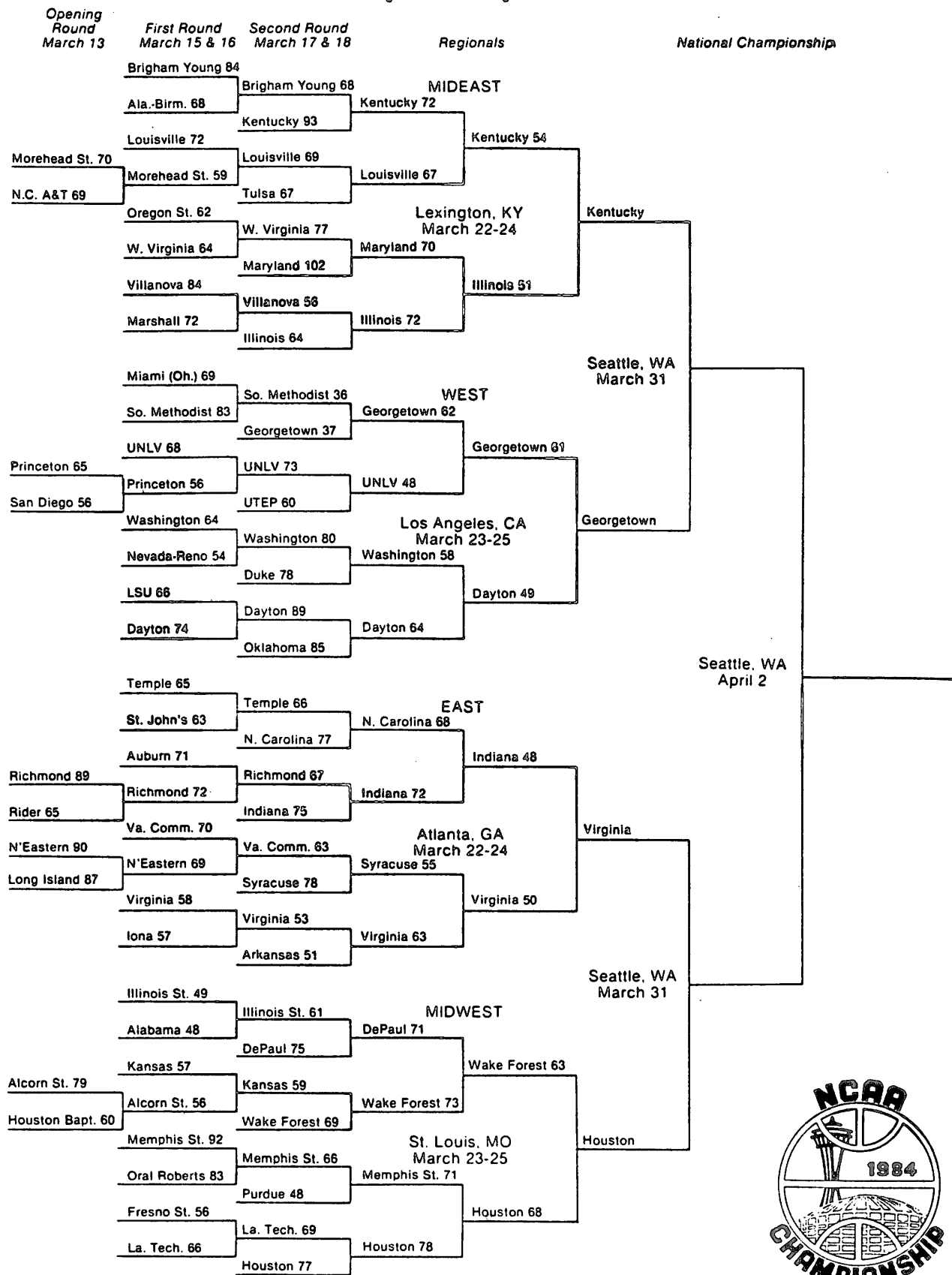
アメリカにおける大学のスポーツ活動、とくに Intercollegiate Athletics に参加するためには、NCAA に加盟しなければならない。NCAA は、バスケットボールはいうに及ばず、数十種目のスポーツを統括している。アメリカでの大学の Athletic activity は、Intramural Sports・Intercollegiate Athletics を問わず学生の心身の健全な発達の促進を期待すると同時に、国民に娯楽を提供するという重要な使命を持っている。そのためにスポーツ選手にも州立大学といえどもスカラシップも認められ、優秀な選手の養成を行ない、立派な施設を用意しているのである。そして、スポーツを見せることによって得られた収入は、大学の予算に組み込まれるようになっている。

NCAA では Division I のバスケットボールチームに対しては、スカラシッププレイヤーを15名と制限し、さらに、学業成績 2.0 以上という基準を設けている。そして、この基準以下の成績では無資格選手とされ、ゲームには出られなくなる。

アメリカにおける学生バスケットボールのシーズンは NCAA のルールにより10月15日から始まり4月上旬の NCAA Championship で終了する。そして、ある地域を中心としたカンファレンスを形成し、リーグ戦を行なうグループと、どのカンファレンスにも所属せずにシーズンのゲームをこなすインデペンデントとに分かれ、定められたゲームを消化する。

リーグ戦グループは11月下旬の公式戦開始から、1月中旬までの間は、他のカンファレンスやインデペンデントのチームを相手にノンカンファレンスのゲームを行ない、1月中旬からはカンファレンス内のチームとの2回戦制のリーグ戦を行なうようになっている。この間のゲーム数は約30ゲームである。そのうち同一カンファレンス内のゲームは10~12ゲーム、残りはノンカンファレンスとのゲームとなっている。カンファレンスの順位はリーグ戦の成績で決定するが、同率であればノンカンファレンスの成績が加味される。インデペンデントのチームはシーズン中の成績でランキングに入るかどうか重要であり順位を決めることはできない。各カンファレンスの優勝チームと全米ランキング20位以内に入っているチームと合わせて約50チームによって3月15日から4つのブロックに分かれてトーナメントを実施し、各ブロック代表4チームが準決勝・決勝の Final 4 に進出し、全米一を決めるシステムになっている。

1984 Division I Men's Basketball Championship Bracket



シーズン終了後、スタッフはリクルートという仕事をしなければならない。そのためには、今シーズンのチームの分析をし、次のシーズンの方針を検討し必要な選手を決め、勧誘するのである。University of Portland ではアシスタントコーチが集めた情報をもとに、新年度のチームのリクルートを行なうが、優秀な選手には多くの大学から誘いがあり、多額のスカラシップが示され有名な大学に流れてしまうことが多く、大事な仕事であると共に大変な仕事である。

夏には、サマーキャンプを実施する。この企画は収入を得ること以上に、リクルートとジュニアの養成・発掘に力を注ぐことになる。このキャンプでは、将来獲得すべき選手の参加、優秀な高校指導者との交流が大事であり、自分のバスケットボールを理解してもらうための大切な事業である。この間には、スタッフは各種クリニックに参加して資質の向上と情報交換を計るのである。

サマーキャンプの後は、10月15日のシーズンインに備えて、スタッフは来るべきシーズンの練習計画・ゲームプランの検討を行なうが、これが新しいシーズンの成績を左右するのである。もし、シーズンの成績が悪ければ、いとも簡単に解雇されるわけであるから、真剣な姿勢が見られる。この真剣さは、NCAA Division I Basketball Championship Final 4 の会場地（今年はシアトル）で1週間にわたり、全米から殆ど全てのコーチが集まって行なうコーチングクリニックで集約されると言っても過言ではないだろう。このクリニックでは、毎日3～4人のコーチが自分のやってきたプレイや思想を公開するのである。例えば、Offense Against 1-3-1 Half Count Flap, Special Situations Plays, Emergency Scoring Play with less than Seconds Remaining といったものを公開し、これに対し質疑応答があり、場合によってはコートに出てダミーチームを使いながら熱心に勉強しているのである。日本の場合、このように公にされる技術や思想は非常に少なく、ましてや、自分が今年やってきた技術を公開するという習慣のないことは真に閉鎖的である。このように、いろいろなコーチがいろいろな考え方でいろいろな技術を開発し啓蒙するのであるから、その知識の量は膨大なものである。また、コーチ同志はお互いに激しく競り合っているながら常時情報を交換し合ってお互いの資質向上に努めているのである。以上のように、アメリカのバスケットボールは、45日の練習と90日の間に約30ゲームを消化しなければならないハードなスケジュールのなかで、無駄な日は一日としてないのである。

6. University of Portland Pilots の Basketball について

1) 財 源

前述のように大学負担の費用は膨大な額であるが、これらの財源は

授業料

Holy Cross (教会) からの援助

私的援助

寄付

その他

であり、バスケットボールのみの収入は、

ポートランド大学におけるバスケットボール指導と大学の体制について

後援者による資金集めとして Pre-Season Special Gathering で約 \$ 4,000

入場収入として... シーズンチケット \$ 65

1試合 大人 \$ 4

学生 \$ 3

1試合平均約2,000名の観客が集まる。

ラジオ放送権料

などがある。

2) 表彰

シーズンが終わると学長はじめ後援者、チーム関係者が一堂に会して Banquet を開きシーズン中の労をねぎらうと共に、選手の表彰を行なう。

1983-84 Basketball Award

Most Valuable Player Award

Captain's Award

Leadership Award

Inspirational Award

Most Improved Award

3) University of Portland pilots Roster (1983-84)

Head Coach Jack Avina

Assistant Coach Rick Jackson

Joel Avina

Reggi Logan

10	Chris Fulton	G	6-4	190	Fr	San Anselmo, CA/Sir Francis Drake
11	Brian Fundingsland	G	5-9	150	Jr	Polkland, OR/Jackson
12	Kevin Williams	G	6-3	175	Jr	Los Angeles, CA/D. Murphy
13	Gary Von Waaden	C	6-10½	215	Jr	San Jose, CA/Piedmont
14	Dwayne Corbitt	G	6-3	190	So	Long Beach, CA/Lakewood
15	Jim Grantham	F	6-4	190	Fr	Clatskanie, OR/Clatskanie
20	Tony Havior	F	6-5½	185	So	Milledgeville, GA/Baldwin
21	James Van Ness	C	6-10	220	Jr	Portland, OR/Grant/Chemeketa CC
22	Fred Harris	G	6-4	185	So	Birmingham, AL/Glenn
23	Jeff Webb	F	6-9	205	Fr	Wenatchee, WA/Wenatchee
24	Darran Jenkins	F	6-8	215	Jr	Eugene, OR/South Eugene
25	Greg Holt	F	6-6½	195	Jr	Los Angeles, CA/D. Murphy
30	Dennis Black	F	6-7½	205	Sr	Los Angels, CA/Parmount
31	Scott Lewis	G	6-7	170	So	Beaverton, OR/Sunset
32	Dan Hunt	F	6-8	210	So	San Anselmo, CA/Sir Francis Drake
33	John Piwarchuck	F-C	6-9	220	Fr	Portland, OR/Roosevelt

4) Head Coach Jack Avina の Profile

Career	30 years	(High school. Junior college. U of P)
	13 years	(U of P)
	311 won 263 lost	(171 won 183 lost U of P)

アヴィーナ氏の30年にわたるコーチ経歴はアメリカにおいてもトップクラスとの評価を受けている。アメリカにもコーチのタイプは勝利請負師タイプと教育者タイプと二通りあるが、アヴィーナ氏の場合は教育者タイプのコーチとして人望もあり、多くの高校指導者や大学のコーチさらにはプロバスケットボールのコーチたちにも高く評価されている。アヴィーナ氏の哲学は、選手たちにゲームに勝つことだけに貢献するのみではなく、コート上のプレイに責任をとると同じように学業にも責任を持つように要求していることにある。そのことは、University of Portland における13年間にアヴィーナ氏の選手たちが非常に高いパーセンテージで大学を卒業していることをみてもわかる。

アヴィーナ氏は、永年にわたる高校の教師をしていた経験を十分に生かした教育者であると同時に、人間性豊かな機微に富んだ人物であることが、成績が悪ければ簡単に解雇される（ちなみに、名門 UCLA は今シーズン Pac-10 で5位になったことでコーチは解雇された）アメリカにおいて、同一の大学に13年間もヘッドコーチとして務められる重要なポイントであったと考えられる。

University of Portland は学校規模が小さいために、大規模校より条件の悪いスカラシップで、あまり優秀な選手を獲得できないのが現状である。コーチングスタッフは、この選手たちにプレイ上の指導は勿論のこと学習面及び生活面でのアドバイスまでしなければならないのである。とくに、学習面では2学期にわたって基準以下の成績をとると学校を Kick out されるという厳しい環境のなかで育てなければならないことを、わが国の学生スポーツ界と比較すると、相当の差を感ずるものである。また、コーチングスタッフは選手のメンタルな面の把握にも力を入れている。というのも、選手に能力がないため、練習中や試合中におこる特異な状態に対処するためである。このことに関してアドバイスするのがスポーツコンサルタント会社で、アメリカではこのような職業が成立するようである。このコンサルタント会社はシーズン開始早々にチームに関する必要なデータ（性格・行動・目標など）の収集を行ない、コンピューターにファイルし、各ゲーム毎に処理された資料をヘッドコーチに提出するシステムになっている。このレポートにはコンサルタントとしてのコメントもついてきて、それをコーチは日常観察と合わせて指導の資料にしているのである。大規模な大学ではチームスタッフも多勢いて、担当分野も決まっていって選手のコンディションや学業成績や生活面での把握をしているが、小人数のスタッフでは、やはり、手不足の面を外注でカバーしているのである。

Name : _____

Date : _____

BASKETBALL IMPROVEMENT RANK ORDER *

Directions : Listed below are 9 basketball skills. During this season which skills will you be able to *improve* the most? Rank order the skills using 1 as the skill you will improve on the most and 9 as the skill you think you will improve on the least. Be sure each skill has a number. Do not use a number more than once.

- _____ Increase total points per game
- _____ Increase field goal percent per game
- _____ Increase free throw percent per game
- _____ Increase rebounds per game
- _____ Increase steals per game
- _____ Increase blocked shots per game
- _____ Increase assists per game
- _____ Decrease personal fouls per game
- _____ Decrease turn overs per game

.....

Name : _____

Next Opponent : _____

Date : _____

P. I. E. R.

(Predicted Individual Efficiency Rating)

If I play in the next game my end-of-game statistics will be :

- (1) Personal fouls _____
- (2) Field Goals made _____
- (3) Field Goals missed _____
- (4) Free Throws made _____
- (5) Free Throws missed _____
- (6) Turn overs _____
- (7) Assists _____
- (8) Total points _____
- (9) Blocked shots _____
- (10) Rebounds _____
- (11) Steals _____

MOOD RATING

On the scale below indicate how you are feeling today (circle one number) :

- | | | | | | | |
|--|---|---|----------------------------|---|---|---------------------------------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| This is one
of the worst
days of my life | | | This has been
an OK day | | | This has been
a terrific day |

Name : _____

Date : _____

BASKETBALL ABILITY SCALE

The purpose of this questionnaire is to find out how well you think you will play in the next game. Each question below asks you what percentage of the time you think you will be able to perform a certain skill or strategy. After you have answered the first part of the question, indicate how sure you are of your answer by circling the correct number on the scale provided.

1. In the next game, I will be able to handle the ball with *less* than 2 turn overs.

(circle one) :

10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
definitely not				probably yes					definitely yes

Indicate how sure you are of this answer (circle one) :

10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
quite uncertain				moderately certain					certain

2. In the next game, I will be able to achieve a Field Goal shooting percentage of :

(circle one) :

10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------

Indicate how sure you are of this answer (circle one) :

10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
quite uncertain				moderately certain					certain

3. In the next game, I will be able to achieve a Free Throw shooting percentage of :

(circle one) :

10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------

Indicate how sure you are of this answer (circle one) :

10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
quite uncertain				moderately certain					certain

4. In the next game, I will be able to play defense with *less* than 3 fouls.

(circle one) :

10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
definitely not				probably yes					definitely yes

Indicate how sure you are of this answer (circle one) :

10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
quite uncertain				moderately certain					certain

5. In the next game, I will be responsible for at least 2 assists (circle one) :

10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
definitely not				probably yes					definitely yes

Indicate how sure you are of this answer (circle one) :

10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
quite uncertain				moderately certain					certain

6. In the next game, I will be able to block out my opponent on shot attempts the following percent of the time (circle one) :

10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------

Indicate how sure you are of this answer (circle one) :

10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
quite uncertain				moderately certain					certain

7. In the next game, my total number of recoveries (steals & blocked shots) will be greater than my total number of turn overs (circle one) :

10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
definitely not				probably yes					definitely yes

Indicate how sure you are of this answer (circle one) :

10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
quite uncertain				moderately certain					certain

8. In the next game, I will be able to achieve an Individual Efficiency Rating of " good " (circle one) :

10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
definitely not				probably yes					definitely yes

Indicate how sure you are of this answer (circle one) :

10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
quite uncertain				moderately certain					certain

9. In the next game, I will be able to successfully carry out my defensive assignments the following percent of the time (circle one) :

10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------

Indicate how sure you are of this answer (circle one) :

10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
quite uncertain				moderately certain					certain

10. In the next game, I will be able to successfully execute my assignments in the _____ offense the following percent of the time (circle one) :

10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

Indicate how sure you are of this answer (circle one) :

10 20 30 40 50 60 70 80 90 100
quite moderately certain
uncertain certain

11. In the next game, I will be able to successfully execute my assignments in the _____ offense the following percent of the time (circle one) :

10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

Indicate how sure you are of this answer (circle one) :

10 20 30 40 50 60 70 80 90 100
quite moderately certain
uncertain certain

12. In the next game, I will be able to successfully execute the _____ play the following percent of the time (circle one) :

10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

Indicate how sure you are of this answer (circle one) :

10 20 30 40 50 60 70 80 90 100
quite moderately certain
uncertain certain

13. In the next game, I will play better than my opponent on *offense* the following percent of the time (circle one) :

10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

Indicate how sure you are of this answer (circle one) :

10 20 30 40 50 60 70 80 90 100
quite moderately certain
uncertain certain

14. In the next game, I will play better than my opponent on *defense* the following percent of the time (circle one) :

10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

Indicate how sure you are of this answer (circle one) :

10 20 30 40 50 60 70 80 90 100
quite moderately certain
uncertain certain

倉 島 武 徳

15. In the next game, I will play successfully the following percent of the time
(circle one) :

10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

Indicate how sure you are of this answer (circle one) :

10 20 30 40 50 60 70 80 90 100
quite moderately certain
uncertain

16. In the next game, our team will make fewer turn-overs than the opponents :

10 20 30 40 50 60 70 80 90 100
definitely probably definitely
not yes yes

Indicate how sure you are of this answer (circle one) :

10 20 30 40 50 60 70 80 90 100
quite moderately certain
uncertain

17. In the next game, our chance of winning is the following percent (circle one) :

10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

Indicate how sure you are of this answer (circle one) :

10 20 30 40 50 60 70 80 90 100
quite moderately certain
uncertain

18. Our chance of qualifying for a post-season tournament is the following percent
(circle one) :

10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

Indicate how sure you are of this answer (circle one) :

10 20 30 40 50 60 70 80 90 100
quite moderately certain
uncertain

5) 練習計画

練習計画には大きく分けて二通りある。その一つはシーズンインになってからゲームが始まるまでのプレシーズンの練習であり、二つ目はいよいよゲームが始まってからの練習である。多くの大学では、スタッフの中で担当が決まっているので自分の担当分野を確実に遂行すればよいが（例えば、コンディショニングについてはトレーナー、ウエイトトレーニングについてはストレングスコーチ、トレーナーによる柔軟体操、負傷の予防・治療、アシスタントコーチはオフェンス担当・ディフェンス担当など）University of Portland では、スタッフのミーティングでプレシーズンの練習計画の大筋を話し合い、アシスタントコーチが毎日の練習を立案するのである。プレシーズンにおける練習には、個人的に必要な技術と共にチームとして必要な技術を必ず毎日入れる。

OCTOBER 19, 1983

3 : 15 Stations
 2 hand chest
 2 hand over
 Man in post
 G F C
 Tipping
 Grapevine
 Power
 Catch & Face
 Out let
 3 : 45 Tag
 3 : 50 Stance
 Mirrors
 Quarters
 4 : 00 Close out & gurad
 4 : 15 Denaials & gurad
 4 : 30 Post denaial
 4 : 40 Flex
 4-5 Screen
 4 : 45 2-3 Screen
 5 : 05 Break drill
 5 : 20 3-1
 3-3
 6 : 00 3-0
 2-1

OCTOBER 31, 1983

3 : 15 Stations, Flash cutter,
 Man defense
 3 : 45 3-3 Help & recover
 4 : 07 Shell game
 Joel Rick
 Fuds Fred
 Dwayne Kevin
 Dan Chris
 Jim Darran
 James Gary
 Chops Scotty
 Webb
 4 : 17 Press
 4 : 27 Flex
 4 : 42 2-4-5
 4 : 55 Zone offense
 5 : 20 Zone defense
 Break & Press

NOVEMBER 10, 1983

3 : 05 Pig lay up
 3 : 10 Zig zag
 3 : 20 3-2 2-1
 3 : 30 2-1
 3 : 40 Screen & roll
 3 : 45 Dummy offense zone
 3 : 55 Zone
 4 : 05 Dummy Man
 4 : 30 Man to man
 4 : 45 Controlled
 5 : 00 Sprints

Shooting

NOVEMBER 23, 1983

3 : 00 Dummy offense
 3 : 25 Break drill
 3 : 30 Screen down
 3 : 40 Flex outs baseline
 3 : 50 Man offense
 2 minute game
 4 : 00 Combo
 4 : 10 2-3
 4 : 20 Match up
 4 : 35 Zone offense
 2 minute game

以上のような練習メニューが代表的なものであるが、このように分刻みの練習で一種目の練習時間は非常に短く一人の選手がせいぜい1～3回程度しか出来ないことが殆どである。従って、プレイに対する集中力を養成するのにも配慮がなされ、選手は気の抜けない緊張した状況に立たされている。これが、延ては習慣化され、Tension と Concentration という大事な要素のトレーニングをしているのである。わが国では、1回の練習時間が4～6時間などというチームもあるが、アメリカのように凡ゆることに対処しなければならない複雑な状況の練習でも、このように、ほぼ2時間で練習を終わるのを見ると、合理性と同時に、選手の理解力の差も見せつけられる思いがする。

ゲームが始まってからの練習は、アシスタントコーチが事前にスカウティングしてきたスカウティングレポートと VTR から、次に対戦するチームに対する対策を話し合いオフェンスフォーメーション、ディフェンスシステムなどを決め、さらに相手の特別な選手に対する対策を用意するのである。

1983-84 University of Portland Basketball Schedule

Day	Date	Opponent	Location
Wednesday	Nov. 2	Japanese Olympic Team	Portland, OR (HH)
Friday	Nov. 25	St. Martin's College	Portland, OR (LC)
Saturday	Nov. 26	Pomona College	Portland, OR (LC)
Tuesday	Nov. 29	Nevada-Reno	Reno, NV
Thursday	Dec. 1	Boise State	Boise, ID
Thursday	Dec. 8	Fresno State University	Portland, OR (MC)
Saturday	Dec. 10	University of Wyoming	Portland, OR (MC)
Saturday	Dec. 17	Oregon State University	Portland, OR (MC)
Wednesday	Dec. 21	San Jose State University	San Jose, CA
Friday	Dec. 23	University of Southern California	Los Angeles, CA
Tuesday-Friday	Dec. 27-30	Far West Classic (1st Round WSU/UP Dec. 27, 9 p. m.) OSU, U of O, WSU, Gonzaga, Cornell, Boise State, Robert Morris, U of Portland	Portland, OR (MC)
Tuesday	Jan. 3	Eastern Washington University	Cheney, WA
Thursday	Jan. 5	University of the Pacific	Stockton, CA
Tuesday	Jan. 10	Central Washington University	Portland, OR (LC)
Saturday	Jan. 14	University of Puget Sound	Portland, OR (GHS)
Thursday	Jan. 19	*St. Mary's College	Moraga, CA
Saturday	Jan. 21	*University of San Diego	San Diego, CA
Thursday	Jan. 26	*Loyola Marymount University	Portland, OR (MC)
Saturday	Jan. 28	*Pepperdine University	Portland, OR (MC)
Saturday	Feb. 4	*University of Santa Clara	Santa Clara, CA
Saturday	Feb. 11	*Gonzaga University	Spokane, WA
Thursday	Feb. 16	*University of Santa Clara	Portland, OR (MC)
Friday	Feb. 24	*Pepperdine University	Malibu, CA
Saturday	Feb. 25	*Loyola Marymount University	Los Angeles, CA
Thursday	March 1	*University of San Diego	Portland, OR (LC)
Saturday	March 3	*St. Mary's College	Portland, OR (MC)#
Thursday	March 8	*Gonzaga University	Portland, OR (LC)

*West Coast Athletic Conference Games

All Home Games 7:30 p. m. (Exception: MC# 2:00 p. m.)

HH-Howard Hall, UP Campus, GHS-Glencoe High School, Hillsboro, OR

LC-Lewis & Clark College, MC-Memorial Coliseum,

Head Coach: Jack Avina

Assistants: Rick Jackson, Joel Avina

6) ゲームプラン

University of Portland には、センター・フォワードに信頼できる選手が不在である。そうすると、どのような相手に対しても最低限の得点の保証・最低限のリバウンドの保証がないので、必然的にディフェンスにも限界が出て来ることになる。そこで勝利を導くためには何ができるかといえば、オフェンスにおけるボールコントロールである。アメリカのルールでは、1チームのボールを保持できる時間に制限がないのでボールコントロールという考え方が出てくるのである。それは、一旦ボールを獲得したならば徹底的にボールをコントロールし、よほどのチャンスがなければシュートに持ち込まないという作戦である。この原理は、攻撃回数を減らしてロースコアでゲームをし、1点の重みを持たせようというものである。このことを如実に現わしているのが、8ゲームにわたるオーバータイムである。8ゲームのオーバータイムは NCAA のタイ記録である。結果的には、この8オーバータイムは4勝4敗であったが、この他に5ゲームは、5点差のゲームを行なっているのである。

ホームゲーム当日は、2時にチーム関係者が食堂に集まりチームミールをとり、ついで3時からコートに出てシューティングを行ない、さらにゲームにおける注意事項・フォーメーションの確認をして、6時に会場に入るのが一般的な行動である。会場に到着してからはシューティング・ストレッチングなどでウォーミングアップをし、30分前にはもう一度ロッカールームで最終的な確認をしてゲームに臨むのである。ちなみに、開幕戦の一連のゲームプランと注意事項をのせると以下のようになる。

VS ST. MARTIN'S

Team meal 後の注意

ST. MARTIN'S の Offense system の説明 (Scouting をしてきた Assistant coach)

- 1 Man to man offense (基本的な Set up と2種類の攻め方)
- 2 Zone offense (基本的な Set up と2種類の攻め方)
- 3 Base line throw in からの Set up

Head coach Jack Avina から「初戦から1歩1歩昇って行こう」とのまとめ

詳細は、Chart を使い Court の上で Player に徹底させている。

Game 前の Meeting では、黒板に次のように書いて、個々のことについて説明がある。

	Game 終了後に評価して
Fouls	30%
Shot selection	60%
Turn over	30%
Penetration	30%
Block out	30%
Offensive rebounds	45%
Patience	20%

Mental toughness 40%

Post defense 10%

Eye cation of offense 30%

Be prepared for their presses

Red 41, 32 Full man

They fast break……Safety

Half man to man

Think pig しつこく考えながら攻めろ

Offense 1) Post man が Post で Ball を貰えない時には
Guard は Dribble out して Spot をさがせ
2) Offense は身体の向きを正しく

Defense Guard の Eye contact に注意

このような話があってゲームは終了するが、この他にハーフタイムおよびゲーム終了後には、オフィシャルから5分以内に下記のようなデータが出て来るので、直ちにゲーム分析をし対処することができる。わが国では、このような迅速なデータ処理が行なわれないのでコーチの主観的なゲーム分析に終わることが多い。

OFFICIAL NCAA BASKETBALL BOX SCORE Date 11/25/83 Site Lewis & Clark College

VISITORS (Last Name, First)

No.	ST. MARTIN'S			FG	FGA	FT	FTA	REB	PF	TP	A	TO	BLK	S	MIN
10	May, Greg	f		5	11	2	2	5	2	12	2	3	2	3	25
14	Calhoun, Bob	f		0	0	1	2	1	1	1	0	0	0	0	2
15	Ford, Shawn	c		0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2
22	Kelly, Tim	g		1	1	1	2	1	1	3	1	1	0	1	10
23	McClanahan, Ed	g		1	2	0	1	0	2	2	0	3	0	0	10
24	Parks, Ryan			0	0	1	2	1	1	1	1	1	0	0	8
25	Johnson, Steve			1	5	0	0	2	2	2	4	2	0	0	28
30	Kvehne, Don			0	2	0	0	3	1	0	0	1	0	0	17
32	Robinson, Mitch			4	7	2	3	3	2	10	0	1	0	0	27
33	Chambers, Rick			7	10	0	0	3	3	14	0	3	1	2	30
42	Manning, Michael			3	4	4	6	2	2	10	2	4	0	1	28
44	Koukal, Marshall			1	4	4	4	3	3	6	2	1	0	0	13
50	Basie, Jerry							DNP							
TEAM REBOUNDS(Included in Totals)								3							
TOTALS				23	47	15	22	28	21	61	12	20	3	7	200

FG% : 1st Half 15 • 25—.600 2nd Half 8 • 22—.400 Game 23 • 47—.489 Deadball
 FT% : 1st Half 6 • 7—.857 2nd Half 9 • 15—.600 Game 15 • 22—.682 Rebounds 1

HOME

No.	PORTLAND			FG	FGA	FT	FTA	REB	PF	TP	A	TO	BLK	S	MIN
10	Fulton, Chris	f		2	7	2	2	4	1	6	2	2	0	2	16
11	Fundingsland, Brian	f		1	6	4	4	0	3	6	4	4	1	4	22
12	Williams, Kevin	c		4	9	2	3	2	1	10	0	1	1	3	27
13	vonWaaden, Gary	g		4	5	0	1	5	3	8	0	1	0	0	15
14	Corbitt, Dwayne	g		5	9	2	2	5	3	12	2	2	0	0	18
15	Grantham, Jim			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
20	Havior, Tony			0	1	0	1	3	1	0	0	0	0	0	13
21	Van Ness, James			3	3	0	2	2	2	6	2	3	0	0	17
22	Harris, Fred			5	11	4	5	8	1	14	1	1	0	4	24
24	Jenkins, Darran			3	5	2	2	1	3	8	1	2	0	1	13
25	Holt, Greg							DNP							
30	Black, Dennis			2	2	0	0	2	1	4	0	1	0	0	10
32	Hunt, Dan			2	4	1	1	4	1	5	2	1	0	2	20
33	Piwarchuck, John			0	2	0	0		1	0	0	0	0	0	3
TEAM REBOUNDS (Included in Totals)								2							
TOTALS				31	64	17	23	38	21	79	14	18	2	16	200

FG% : 1st Half 17 • 35—.486 2nd Half 14 • 31—.452 Game 31 • 64—.484 Deadball
 FT% : 1st Half 6 • 9—.667 2nd Half 11 • 14—.786 Game 17 • 23—.739 Rebounds 3

OFFICIALS : Frank Buckieulics, Mack

SCORE BY PERIODS 1stH. 2ndH. OT OT FINAL

Technical Fouls : St. Martins bench, —

ST. MARTIN'S	36	25			61
PORTLAND	40	39			79

Attendance 1,123 Cby National Collegiate Athletic Assosiation 1983

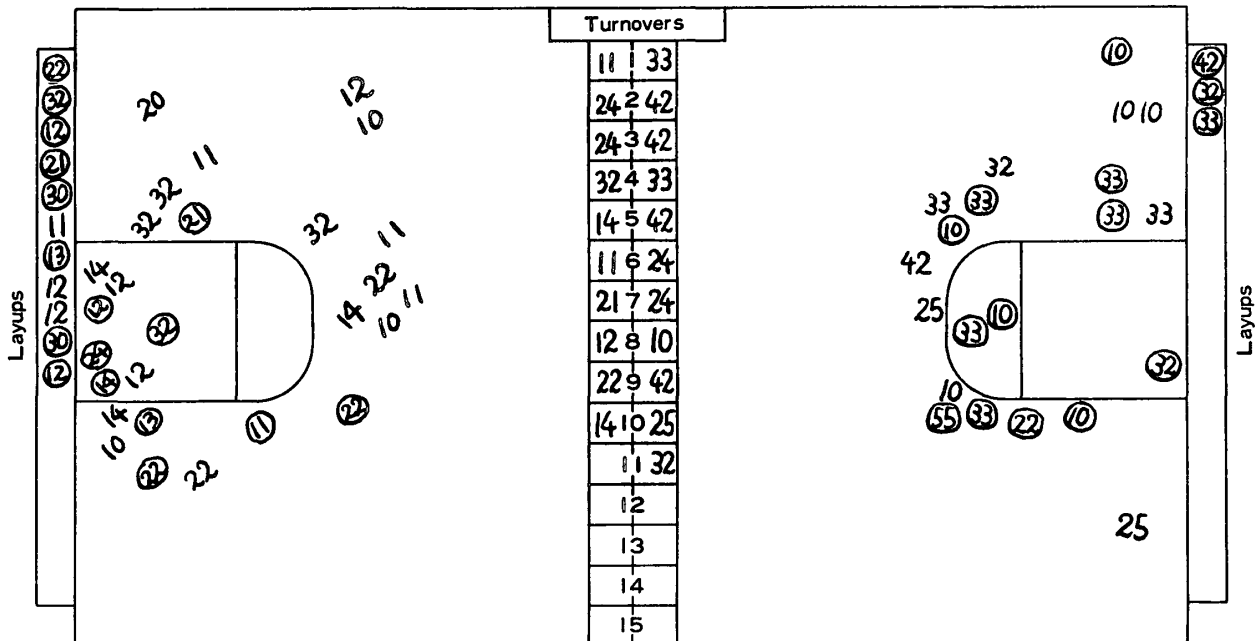
NCAA QUICKIE BASKETBALL STATISTICS

	First Half	Second Half	Final
	(Circle one)		
		St. Martin's	Portland
		Visitors	Home
Team : Score		36	40
Field Goals (Made/Att./Pct.)		15-25-.600	17-35-.486
Free Throws (Made/Att./Pct.)		6-7-.857	6-9-.666
Rebounds		8	21
Fouls		10	10
Individual : Scoring Leaders		Chambers 12	Williams 8
		May 10	Harris 7
Rebounding Leaders		Chambers 2	Harris 4
			Hunt 3
			Corbitt 3
Three or More Fouls		/	/
		/	/

Shot Chart

Team Portland

Team St. Martin's



UNIVERSITY OF PORTLAND VS ST. MARTIN'S

PORTLAND	STARTERS	ST. MARTIN'S
BRIAN FUNDINGSLAND	G	STEVE JOHNSON
FRED HARRIS	G	MICHAEL MANNING
DARRAN JENKINS	F	RICK CHAMBERS
KEVIN WILLIAMS	F	GREG MAY
GARY VON WAADEN	C	MITCH ROBINSON

TIME	UP		SM	
19:54	Harris ten footer, fouled converts	3	Foul Robinson 1st, 1T	
19:40			Johnson 18 footer	2
19:05	Jenkins from Fuds lay-in	5		
18:45			Chambers 18 footer	4
18:15	Fuds 15 footer from Von Waaden	7		
17:50			May fouls list, 2T	
17:28			Manning length of floor lay-in	6
17:00	Jenkins offensive foul 1st, 1T			
16:43			May fouls on rebound, 2nd, 3T	
16:27	Von Waaden from Williams	9		
15:56	Jenkinks offensivs foul, 2nd, 2T			
15:44	Fuds fouled on break away shoots two x-x	11	Johnson fouls 1st, 4T	
15:32			Chambers from the free throw Line	8
15:09	Harris on the follow stuff	13		
14:51	Fuds reach-in foul 1st, 3T			
14:42			Robinson five footer from May	10
14:20	Harris 17 footer	15		
13:57	Williams fun rebound basket	17		
13:34	Hunt rebound basket	19		
13:17			Chambers eight footer	12
11:14	Williams lay-in from Fulton	21		
11:00			May ten footer	14
10:37	Van Ness rebound foul 1st, 4T			
10:21			Parks foul, 1st, 5T	
10:09	Van Ness stuff from Hunt	23		
9:41	Corbitt rebound basket	25		
9:12			Greg May leapin leaner	16
8:51	Hunt five footer, fouled converts	28	Koukal fouls, 1st, 6T	
8:34			Kelly 18 footer from wing	18
8:10	Van Ness jumper from Fulton	30		
7:47	Black grabbing foul 1st, 5T			
7:42	Von Waaden fouls 1st, 6T		Koukal shoots two x-x	20

ポートランド大学におけるバスケットボール指導と大学の体制について

7:15	Von Waaden Shoots bonus, ○-		Koukal fouls	
7:13	Black rebound basket	32		
6:45	Von Waaden tip-in	34		
6:26	Von Waaden fouls, 2nd bonus		Robinson shoots bonus ○-	
5:49	Van Ness pushing foul 2nd		May shoots bonus ×-×	22
5:38	Williams charging foul 1st			
5:17			May line dive 15 footer	24
4:33			Robinson rebound basket	26
4:04	Black rebound basket	36		
3:50			May jumper from the wing	28
3:29	Havior shoots bonus		Manning fouls underneath 1st, bonus	
3:19	Williams shoots bonus ○-		Robinson fouls	
3:00			Chambers basket	30
2:00			Chambers five footer	32
1:23	Williams shoots two, ×-×	38	Chambers fouls 1st	
1:13	Havior fouls 1st		Manning shoots bonus, ×-×	34
1:06	Williams lay-in from Fultom	40		
:20			Chambers 15 footer	36
HALF TIME SCORE	PORTLAND	40	ST MARTIN'S	36
19:24	Jenkins five footer	42		
19:08	Williams lay-in from Harris	44		
18:24			Robinson five turn around	38
18:06	Von Waaden tip in	46		
17:34	Harris holding foul 1st, 1T		Chambers 15 footer from wing	40
17:32			Manning fouls 1T	
17:18	Harris from Williams	48		
16:36			Manning shoots ×× two ×-○	41
16:11	Von Waaden lay-in from Fuds	50	Robinson shoots two, ×-×	43
15:59	Jenkins fouls 3rd, 2T		Chambers fouls, 2nd, 2T	
15:56	Von Waaden fouls, 3rd 3T		technical foul on SKC coach	
15:08				
14:35	Jenkins shoots T ×-×	52	Manning fast break lay-in	45
14:17	Harris rebound stuff abot	54	Kelly shoots two, ○-×	46
12:45	Jenkins from Fuds	56	Kvehne fouls, 1st, 3T	
11:49			McClanahan lay-in	48
11:14	Fuds fouls 2nd, 4T		Chambers blocking Foul, 3rd, 4T	
11:00	Harris shoots two, ×-○	57		
10:32				

倉 島 武 徳

10:15	Van Ness rebound basket	59		
9:53	Corbitt 17 footer from side	62		
9:45			Koukal charging foul	5T
9:30	Corbitt underneath	63		
9:16			McClanahan charging foul	2nd, 6T
8:57	Corbitt running five footer	65		
8:46	Fulton fouls, 1st, 5T			
8:29	Corbitt five footer	67		
8:04	Corbitt fouls 1st, 6T			
7:51	Corbitt fouls 2nd, bonus		Manning shoots two, ○-×	49
7:31			Manning fast break in ten footer	51
7:05	Fulton reverse lay-in	69		
6:12	Fulton 12 footer from wing	71		
5:58			Robinson underneath	53
4:48	Van Ness shoots two, ○-○		Johnson fouls, 2nd, bonus	
3:27			May five footer	55
3:09	Fuds fouls, 3rd		McClanahan shoots bonnus ○-	
2:41	Fuds shoots two, ×-×	73	McClanahan fouls	
2:13	Harris shoots two, ×-×	75	Kelly fouls, 1st	
2:04	Hunt fouls		Koukal shoots bonus ×-×	57
1:23	Corbitt fouls		Calhoun shoots two, ○-×	58
:37	Fulton shoots two ×-×	77	Ford fouls, 1st	
:26			Koukal hits 13 footer	60
:17	Corbitt shoots two, ×-×	79	Calhoun fouls, 1st	
:10	Piwarchuck fouls		Parks shoots two, ×-○	61
FINAL SCORE	PORTLAND	79		
	ST. MARTIN'S	61		

NCAA QUICKIE BASKETBALL STATISTICS

First Half Second Half Final
 (Circle one)

	Visitors	Home
Team : Score	_____	_____
Field Goals (Made/Att. / Pct.)	— —	— —
Free Throws (Made/Att./Pct.)	— —	— —
Rebounds	_____	_____
Fouls	_____	_____

Individual : Scoring Leaders

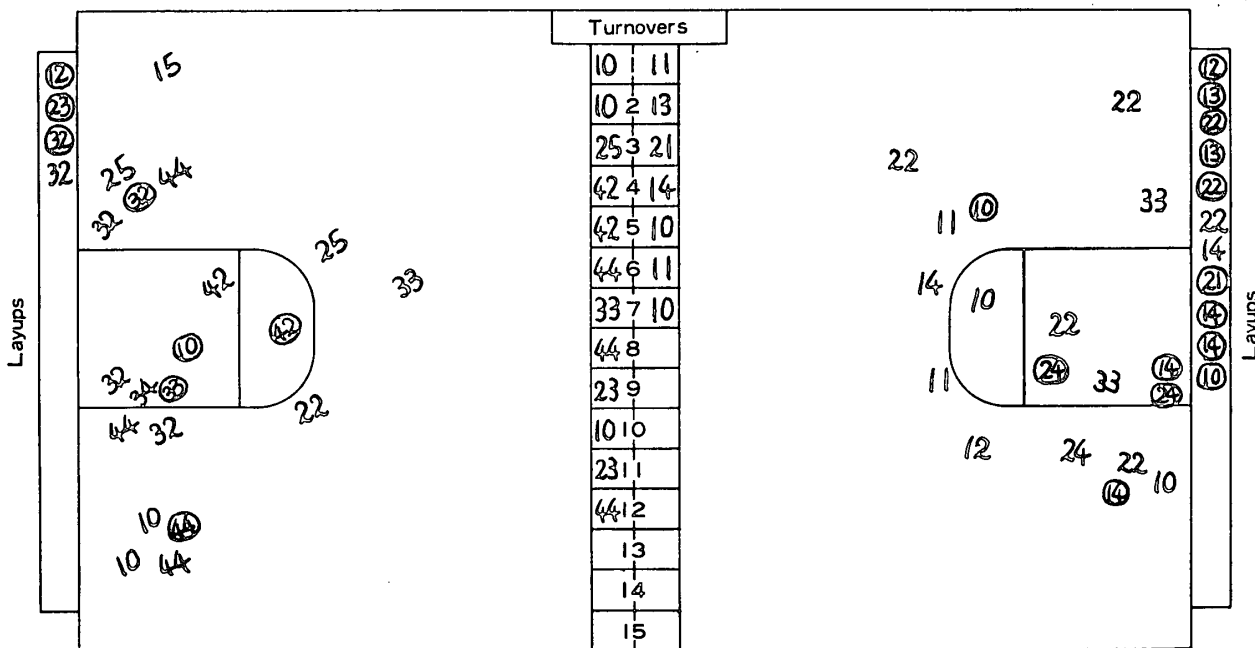
Rebounding Leaders

Three or More Fouls

Shot Chart

Team St. Martin's

Team Portland



アウェイゲームではチームミールがないだけで、ほぼ同様なスケジュールで進められる。ホームゲーム・アウェイゲームを問わず VTR は必ずとって、次のゲームのために翌日詳細に分析し、練習で悪いところを修正する。また、VTR は対戦相手のゲームについてもアシスタントコーチがスカウティングに行った時にとりあって、スカウティングレポートと同時にスタッフで十分に分析し、次のゲームプランをたてる時の参考にする。



SCOUTING REPORT

_____ vs. _____
at _____
date _____
halftime score _____
final score _____
prepared by _____

SUMMARY

Individual Characteristics

NAME				
Ht.	Wt.	Pos.	Hand	Class
Comments:				

NAME				
Ht.	Wt.	Pos.	Hand	Class
Comments:				

NAME				
Ht.	Wt.	Pos.	Hand	Class
Comments:				

NAME				
Ht.	Wt.	Pos.	Hand	Class
Comments:				

NAME				
Ht.	Wt.	Pos.	Hand	Class
Comments:				

NAME				
Ht.	Wt.	Pos.	Hand	Class
Comments:				

NAME				
Ht.	Wt.	Pos.	Hand	Class
Comments:				

NAME				
Ht.	Wt.	Pos.	Hand	Class
Comments:				

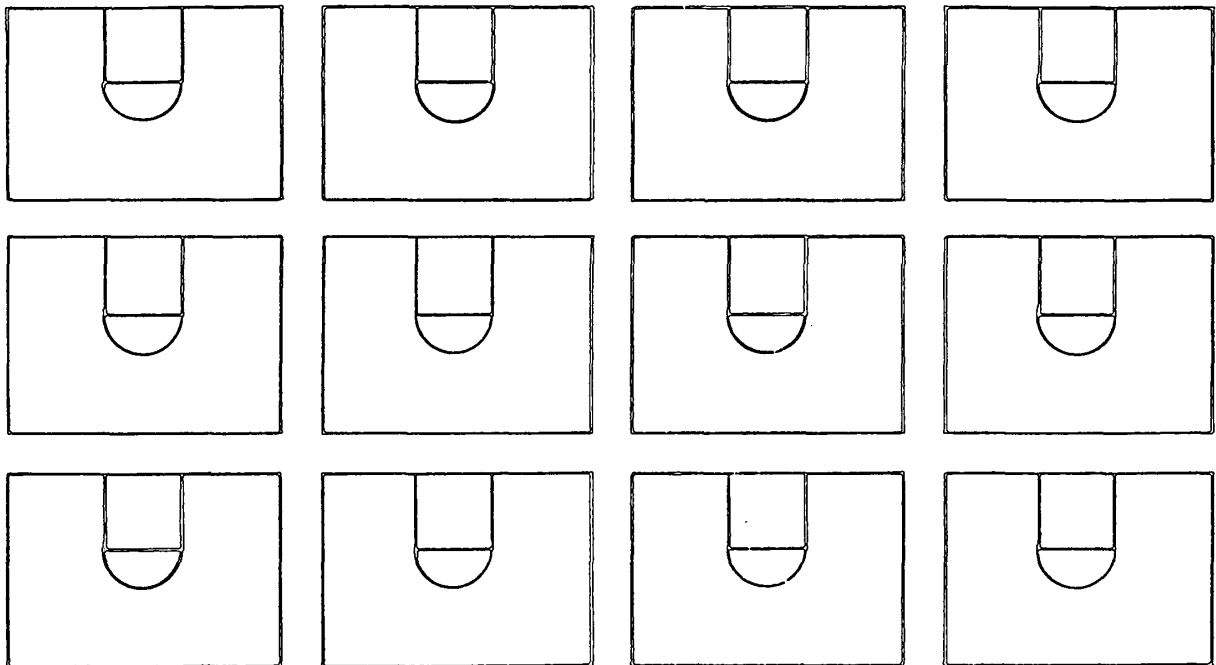
Team Offense

Offense Set _____%

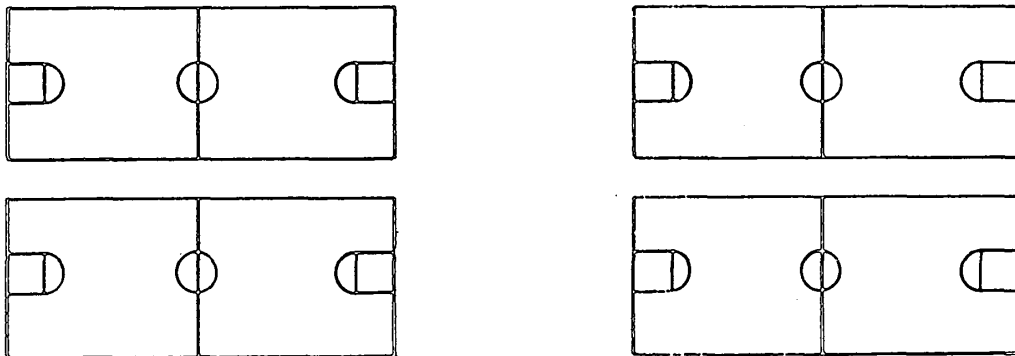
Early O _____%

Fastbreak _____%

Top Scorer	Best 1 on 1	Best Screener	Best Passer
Best Pari Shooter	Poor Shooter	Best Cutter	Best Dribbler
Best Rebounder	Best Driver	Floor Leader	Basic Set
Who Not To Foul	Who Do They Go To	Who To Foul	Takes Ball Out



Fast Break



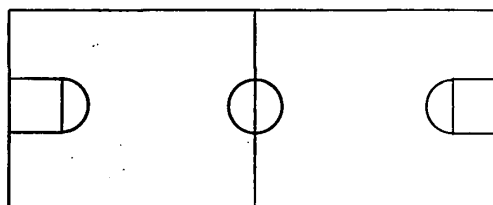
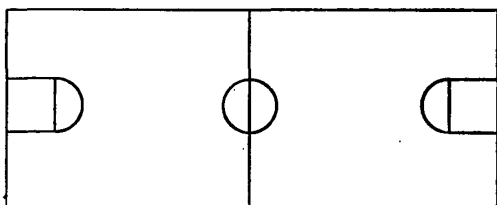
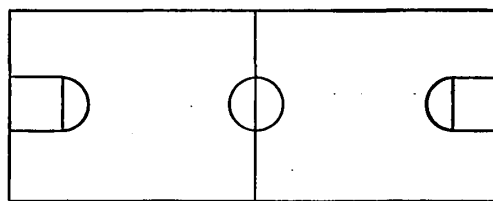
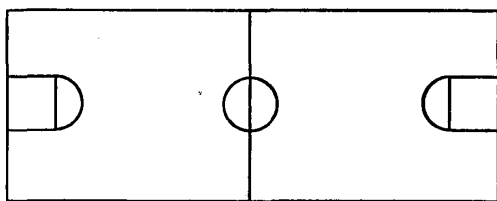
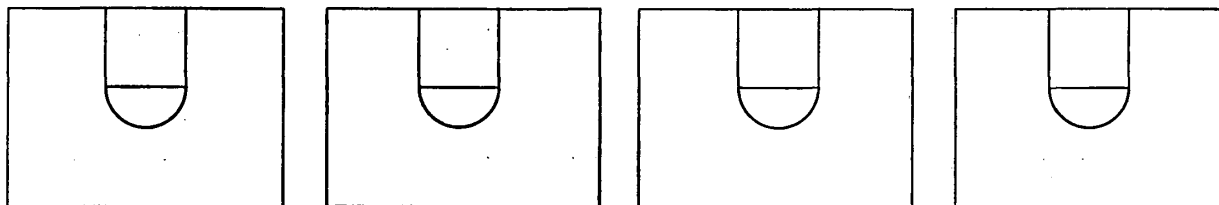
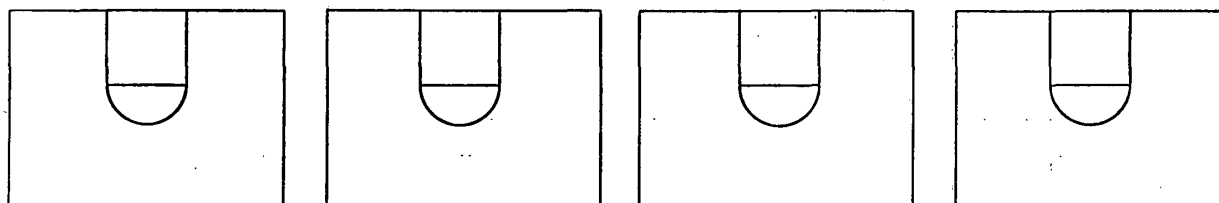
Team Characteristics:

Team Defense

Match-ups

1		
2		
3		
4		
5		

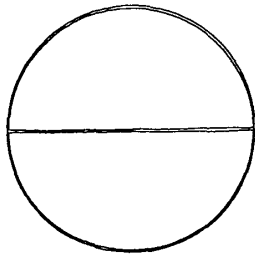
Best Defender	Best Post Defender
Best Shot Blocker	Takes Charges
Poorest Defender	Foul Prone
Best Rebounder	Slow Getting Back



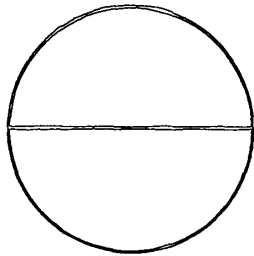
Team Characteristics:

Special Areas

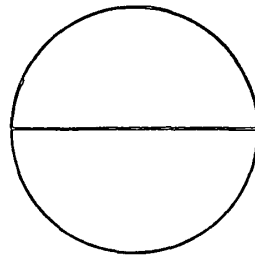
Jump Ball Situations:



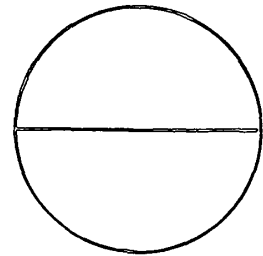
FIRST HALF TIP



SECOND HALF TIP

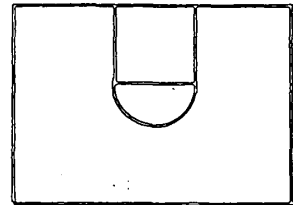
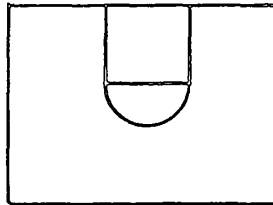
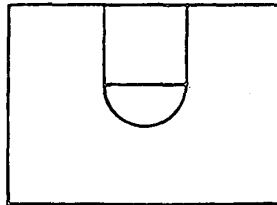
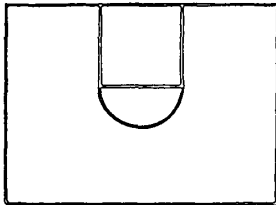


OFFENSIVE TIP



DEFENSIVE TIP

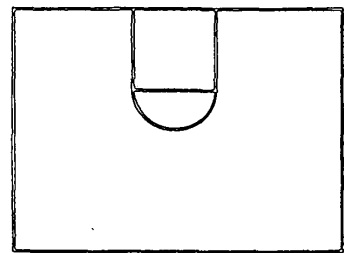
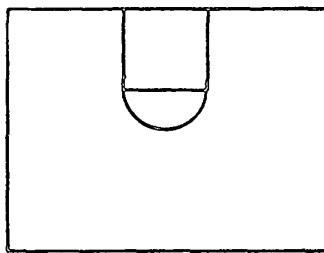
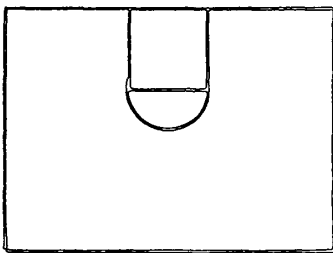
Out of Bounds Plays:



OFFENSE

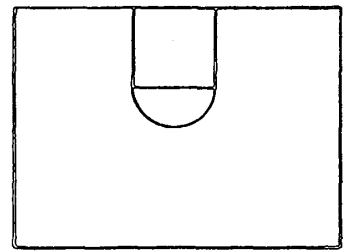
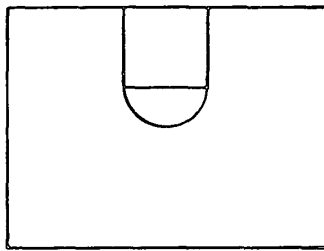
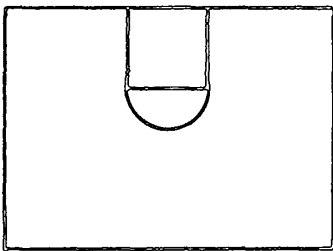
Foul Line Set-up:
DEFENSE

DELAY GAME



Side Line Plays:

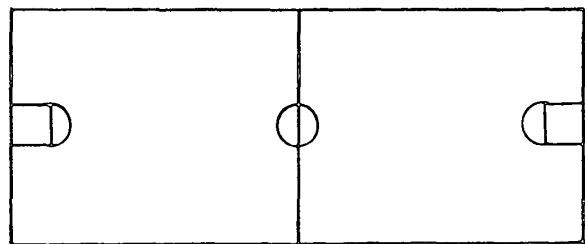
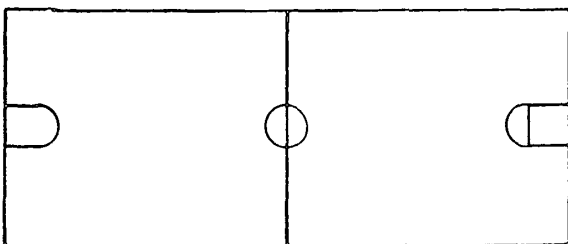
DELAY GAME

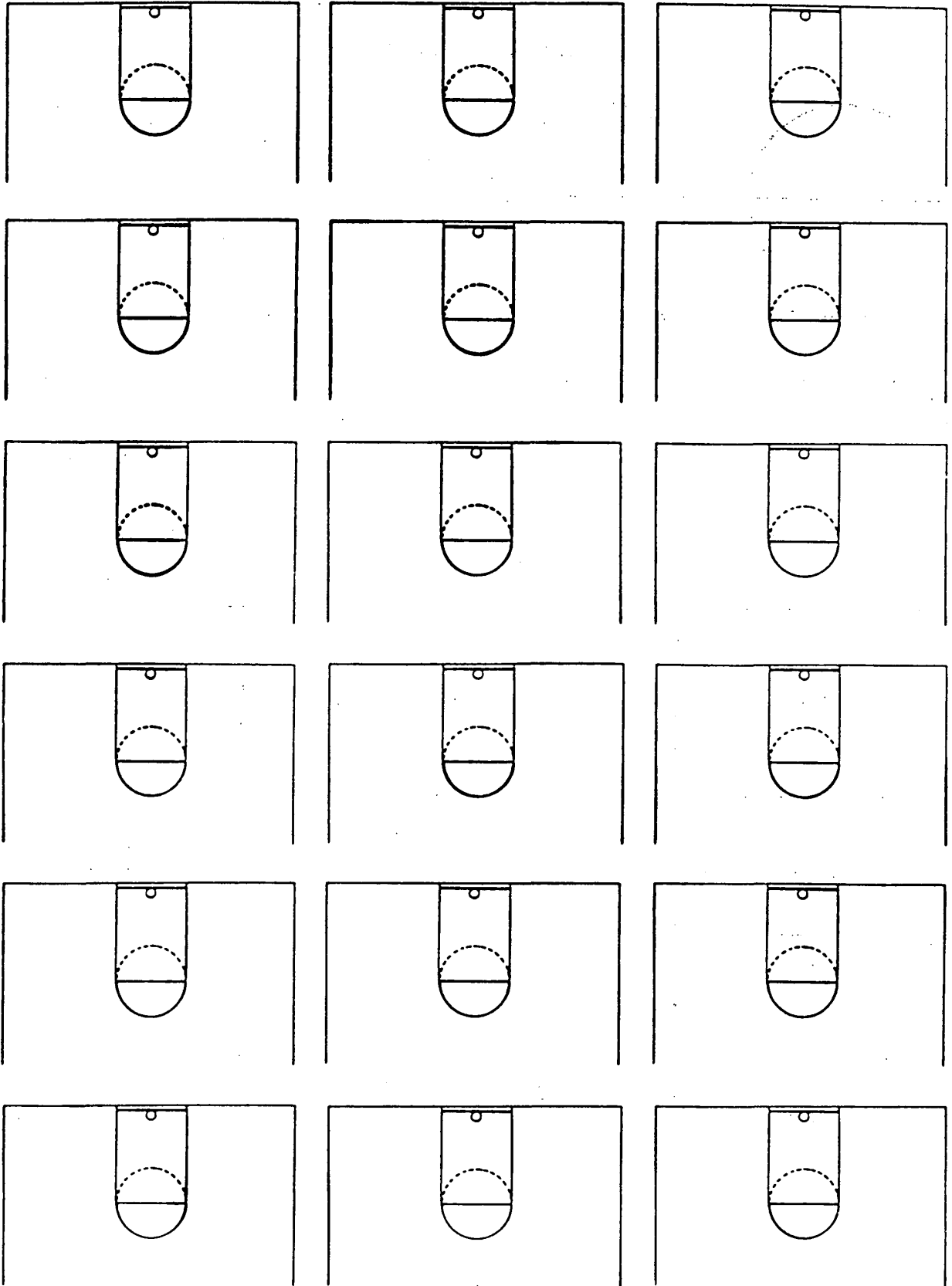


FULL COURT

Offense Against Press:

HALF COURT





Scouting Checklist

Include in Report

- I. Pre-Game
 - A. Newspaper (s)
 - B. Brochure (s)
 - C. Up to date stats
(last year's stats)
 - D. Program (s)
 - E. School newspaper
- II. Coliseum Features
 - A. Floor
 - B. Lights
 - C. Team bench
 - D. Crowd
 - E. Baskets
 - F. Scoureboard
- III. Pre-Game Warm-up
 - A. Attitude
 - B. Get as many physical
features as possible
 - C. Anything unusual
 - D. What basket do they want
- IV. General Team Comments
 - A. Speed
 - B. Quickness
 - C. Aggressiveness
 - D. Team size
 - E. Depth
 - F. Offensive entry
 - G. Reach in-Def. to Off.
Off. to Def.
 - H. Attitude
 - I. Character
 - J. Major strengths
 - K. Major weaknesses
 - L. Who to foul
 - M. Who not to foul
- V. Personnel
 - A. Ht., Wt., Pos., year, R-or L-handed
number
 - B. Shooter, rebounder, handler, "D"
 - C. Temperament
 - D. Foul prone
 - E. Speed
 - F. Reaction-Def. to Off.
Off. to Def.
 - G. Shot blocker
 - H. Penetrator
 - I. Spot shooter-range
 - J. Favorite direction
 - K. Where is win
 - L. What can we capitalize on
 - M. Favorite move
- VI. Team Offense
 - A. Basic set against/who is where vs.
 - B. Type of offense-describe in detail
 - C. Get Keys
 - D. Who do they look for
 - E. Who do they go to when in trouble
 - F. How do they adjust to different
pressures-changing defense
 1. zone/man-sloughing
pressure
level
 2. combination/rule-sloughing
pressure
level
 - G. Out-of-bounds plays
Who takes ball out
 - H. Sideline out-of-bounds
 - I. Do they run from foul line-
foul line alignment
 - J. Jump ball alignment-
where do they tip, play
 - K. Will they go for one at end of half?
At what time?
 - L. When will they put it away
 - M. What do they scoure mostly from-
 - a. break
 - b. transition
 - c. set up
 - N. Is break a rule break
 - O. Is transition organized
 - P. Tendencies
 - a. do they open game with same play
 - b. end half with same play
 - c. when do they vary tempo
- VII. Team Defense
 - A. Type-a. zone. M-M. combination. rule
b. level
 - B. Do they change-when-keys
 - C. Who is weakest in 2 man game
 - D. Who is foul prone
 - E. Out-of-bounds "D"
Baseline
Sideline
Do they zone on man out of bounds play
 - F. Jump ball "D" foul line "D"
 - G. Look to draw change
 - H. Physical
 - I. Box well-how many can we send
 - J. Transition-Def. to Off.
 - K. Help side Def.
 - L. Tendencies-
 - a. when will they press if down
 - b. end of game "D"
 - c. foul trouble "D"
 - d. adjustments
- VIII. What must we do to win!

GENERAL COMMENTS : _____

TEAM TENDENCIES : _____

WHAT WE MUST DO TO WIN : _____

7) Sports Information Director の仕事について

バスケットボールに関してのみの SID (Sports Information Director) の仕事は, WCAC Committee で定められた方針に従って, 各大学から SID が集まって, 対戦相手・日程・場所などの調整をし, スケジュールを決定する。WCAC に関する組織は次のようになっている。

WCAC Commissioner's Office & Staff

WCAC Commissioner

WCAC Basketball Officials' commissioner

WCAC Sports Information Director

WCAC Executive Committee (Includes WCAC University Representatives & Directors of Athletics)

President

Vice-President

Treasurer

Secretary to the Executive Committee

Other members

シーズン前にはこのような仕事の他に, 後援者やファンのために, 新チームの紹介・対戦相手の紹介・前シーズンのデータ・WCAC の前シーズンのデータ・過去の記録・University of Portland の過去からの記録などを掲載したパンフレットの作成・配布がある。この他に, 自分の大学のチームに関するデータをまとめてスタッフはもちろんファンにも, 各ゲーム毎に作られるプログラムに掲載し, マスコミに対しても漏れなく情報を提供するのである。プログラムの作成も SID の仕事である。さらに, University of Portland は全試合をラジオで放送するが, この交渉も SID の仕事である。

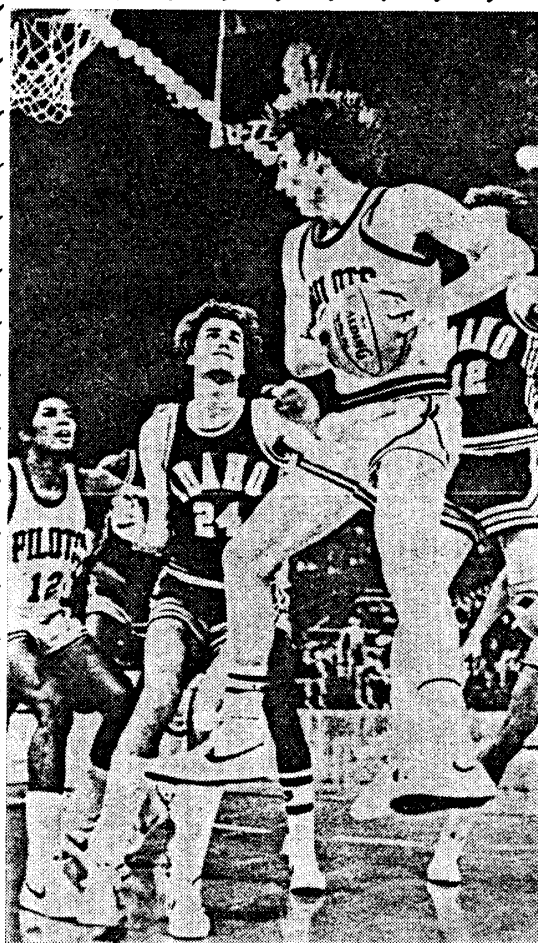
a local event . . . share the excitement

Dan
Hunt
and Kevin
Williams
(#12) — Idaho
Far West
Classic,
Dec. '82

UNIVERSITY OF PORTLAND
welcomes

ST. MARTIN'S
Lewis & Clark
Friday, Nov. 25

POMONA
Lewis & Clark
Saturday, Nov. 26



1983-84 UNIVERSITY OF PORTLAND
 BASKETBALL STATISTICS AS OF 03/08/84
 28 GAMES 11 WINS, 17 LOSSES

NAME	GM	MIN	FGM	FGA	PCTG	FTM	FTA	PCTG	PTS	AVE	HJ	REB	AVE	PF	DQ	A	TO	BL	S
24 JENKINS	28	719	128	231	0.554	56	75	0.747	312	11.1	22	123	4.4	95	4	29	72	12	20
11 FUNDINGSLAND	28	901	96	196	0.490	79	109	0.725	271	9.7	22	62	2.2	61	2	131	71	4	42
22 HARRIS	28	609	98	235	0.417	31	48	0.646	227	8.1	17	67	2.4	80	5	39	47	5	31
32 HUNT	28	843	83	160	0.519	25	38	0.658	191	6.8	16	140	5.0	73	2	52	39	6	24
30 BLACK	28	644	78	156	0.500	34	48	0.708	190	6.8	20	151	5.4	74	3	10	65	4	15
14 CORBITT	28	524	57	142	0.401	62	88	0.705	176	6.3	20	69	2.5	63	4	31	38	2	9
10 FULLTON	28	528	47	127	0.370	20	30	0.667	114	4.1	15	29	1.0	53	1	73	53	1	17
12 WILLIAMS	28	408	35	68	0.515	10	25	0.400	80	2.9	12	46	1.6	48	3	8	20	4	16
20 HAYTOR	14	203	11	32	0.344	7	13	0.538	29	2.1	9	41	2.9	27	0	6	12	1	4
21 VAN NESS	19	214	16	35	0.457	6	16	0.375	38	2.0	6	46	2.4	28	1	6	9	10	1
13 VON WAADEN	22	178	15	28	0.536	5	11	0.455	35	1.6	8	27	1.2	30	1	4	14	5	0
33 PIWARCHUCK	3	14	2	6	0.333	0	0	0.000	4	1.3	4	4	1.3	2	0	1	0	0	1
25 HOLT	9	34	2	13	0.154	4	4	1.000	8	0.9	2	5	0.6	1	0	1	1	0	2
23 WEBB	0	0	0	0	0.000	0	0	0.000	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0
15 GRANTHAM	2	6	0	0	0.000	0	0	0.000	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0
TEAM REB/FOU												86		0					
UP TOTALS	28	5825	668	1429	0.467	339	505	0.671	1675	59.8	82	896	32.0	635	26	391	441	54	182
OPP TOTALS	28	5825	602	1268	0.475	536	772	0.694	1740	62.1	92	824	29.4	524	17	374	396	78	196

119 |

BASKETBALL GAMES PLAYED TO DATE

ST. MARTIN'S	11/25/83	79-61	CENTRAL WASHINGTON OT	01/10/84	65-62
POMONA-PITZER	11/26/83	73-49	PUGET SOUND	01/14/84	74-59
NEVADA-RENO 2OT	11/29/83	76-75	*ST. MARY'S	01/19/84	59-63
BOISE STATE OT	12/01/83	59-56	*SAN DIEGO	01/21/84	63-65
FRESNO STATE	12/08/83	45-70	*LOYOLA MARYMOUNT	01/26/84	51-55
WHOMING OT	12/10/83	59-61	*PEPPERDINE	01/28/84	82-92
OREGON STATE	12/17/83	49-65	*SANTA CLARA	02/04/84	49-61
SAN JOSE STATE	12/21/83	53-55	*GONZAGA	02/11/84	54-73
U S C	12/23/83	48-57	*SANTA CLARA	02/16/84	70-68
WASHINGTON STATE OT	12/27/83	53-55	*PEPPERDINE OT	02/24/84	68-77
BOISE STATE OT	12/29/83	49-48	*LOYOLA MARYMOUNT	02/25/84	75-84
CORNELL	12/30/83	45-61	*SAN DIEGO	03/01/84	56-63
EASTERN WASHINGTON	01/03/84	62-55	*ST. MARY'S	03/03/84	53-48
PACIFIC	01/05/84	51-46	*GONZAGA OT	03/08/84	55-56

* W. C. A. C. LEAGUE GAMES

1983-84 UNIVERSITY OF PORTLAND
W. C. A. C. LEAGUE GAMES
BASKETBALL STATISTICS AS OF 03/08/84
12 GAMES 2 WINS, 10 LOSSES

NAME	GM	MIN	FGM	FGA	PCTG	FTM	FTA	PCTG	PTS	AVE	HT	REB	AVE	PF	DQ	A	TO	BL	S
11 FUNDINGSLAND	12	428	52	104	0.500	43	57	0.754	147	12.3	22	27	2.3	37	2	66	30	1	21
24 JENKINS	12	295	58	105	0.552	19	28	0.679	135	11.3	20	46	3.8	42	2	8	31	1	9
30 BLACK	12	293	43	79	0.544	16	19	0.842	102	8.5	20	78	6.5	34	3	6	25	4	9
32 HUNT	12	364	41	81	0.506	12	17	0.706	94	7.8	14	53	4.4	30	1	29	18	4	9
22 HARRIS	12	269	39	106	0.368	15	21	0.714	93	7.8	17	31	2.6	38	2	28	20	3	12
14 CORBITT	12	237	26	65	0.400	19	28	0.679	71	5.9	17	26	2.2	27	4	15	16	0	3
10 FULTON	12	141	16	39	0.410	4	6	0.667	36	3.0	9	8	0.7	22	0	23	16	0	2
21 VAN NESS	9	125	8	22	0.364	4	9	0.444	20	2.2	5	32	3.6	19	1	4	4	8	1
12 WILLIAMS	12	131	8	14	0.571	2	4	0.500	18	1.5	10	13	1.1	23	1	2	8	1	5
20 HAYIOR	6	90	4	10	0.400	1	5	0.200	9	1.5	2	21	3.5	14	0	1	5	1	1
25 HOLT	5	18	1	4	0.250	2	2	1.000	4	0.8	2	3	0.6	0	0	1	1	0	1
13 VON WAADEN	8	59	3	11	0.273	0	0	0.000	6	0.8	4	6	0.8	10	1	2	1	2	0
15 GRANTHAM	0	0	0	0	0.000	0	0	0.000	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0
23 WEBB	0	0	0	0	0.000	0	0	0.000	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0
33 PEWARCHUCK	0	0	0	0	0.000	0	0	0.000	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0
TEAM REB/FOU												40							
UP TOTALS	12	2450	299	640	0.467	137	196	0.699	735	61.3	82	384	32.0	296	17	185	175	25	73
OPP TOTALS	12	2450	262	541	0.484	281	389	0.722	805	67.1	92	363	30.3	212	6	173	162	36	83

DEAD BALL BEBOUNDS-UP 14
OPP 26

BASKETBALL GAMES PLAYED TO DATE

ST. MARTIN'S	11/25/83	79-61	CENTRAL WASHINGTON OT
POMONA-PITZER	11/26/83	73-49	PUGET SOUND
NEVADA-RENO 2 OT	11/29/83	76-75	*ST MARY'S
BOISE STATE OT	12/01/83	59-56	*SAN DIEGO
FRESNO STATE	12/08/83	45-70	*LOYOLA MARYMOUNT
WYOMING OT	12/10/83	59-61	*PEPPERDINE
OREGON STATE	12/17/83	49-65	*SANTA CLARA
SAN JOSE STATE	12/21/83	53-55	*GONZAGA
U S C	12/23/83	48-57	*SANTA CALARA
WASHINGTON STATE OT	12/27/83	53-55	*PEPPERDINE OT
BOISE STATE OT	12/29/83	49-48	*LOYOLA MARYMOUNT
CORNELL	12/30/83	45-61	*SAN DIEGO
EASTERN WASHINGTON	01/03/84	62-55	*ST MARY'S
PACIFIC	01/05/84	51-46	*GONZAGA OT

8) 情報の交換

前述のように、アメリカにおけるバスケットボールの奥行きは、大学スポーツといえども、それに取り組む大学の姿勢・さらに勝たせなければならないコーチの使命・コーチの技術追求の姿勢・技術の公開・そのための頻繁な情報の交換などがそれを支えていると考えられる。

7. 所 感

6カ月間の滞在で見聞・研修したことは、ここに掲載したとおりであるが、これは NCAA に加盟している約 720 校のうちただ一校を中心に見たものである。即ち、アメリカの極く一部分を見て来たものと言い換えることができる。従って、アメリカのすべてを語ることは僭越であると考えているが、それにしても、わが国との差異には驚嘆させられる。多くの人に体験したことを伝え、出来ることから改革していこうと考えて啓蒙に努めているが、その反応は非常に冷たく、多く人は社会体制の違い・環境の相違・物の考え方の相違などを挙げて日本ではそれは無理とか、札幌大学では無理といって改革に取り組む姿勢のないことを痛感させられている。すべてを採用すべきであると言っているのではなく、良いこと出来ることからやっていくことが肝要であろう。

コーチングに関して研修して来たものは、ここでは発表出来なかったが、札幌大学バスケットボールチームの指導を通して徐々にその成果を表現している最中である。別の機会を見て発表したいと考えている。

なお、この研修は昭和58年度札幌大学留学研修規程国外中期留学によるものである。